

(3) 第2部 「八幡町コミセンの新築移転について」をテーマにした意見交換(要旨)

1. コミュニティセンターの建替え計画について

【ご意見】

八幡町1丁目に住んでいる。コミセンの問題は、八幡町にとって古くて新しい問題であり、今から17年ほど前から話し合われてきたことだ。住民の要求が熟し、署名を添えた市議会への陳情が、市議会全会派一致で可決されてから3年半になる。

そういう中で、八幡町コミュニティ協議会が中心になり、広く各団体に呼びかけながら、昨年9月に、「八幡町コミセン移転・新築推進委員会」を発足させて、検討を続けている。

市長の努力により、八幡町コミセンの移転新築が必要だということについては、広く認識されていると思う。現在の到達点として、市民と行政が一緒になり、これからのモデルになるコミセンをつくっていこうということを市長との間で確認している。

どこにどんなコミセンをとということで、「八幡町コミセン移転・新築推進委員会」サイドで審議をしてきた。今、だんだん議論が熟し、場所については、中央公園の中や、都営住宅の集会場がある公園など、いろいろな意見があるが、東京都の所管、あるいは、既設の趣旨に基づく法令上の制約などで実際は難しい。ただ、千川小学校のプール跡地ということが陳情の背景にあった。

現在、市有地の洗い出しをしているので、場所はまだ特定できないというのが、これまでの市長の見解だと理解をしている。今までの成果を含めて、あらためて、市長の見解を明らかにしていただきたい。

【市長】

現在の八幡町コミセンについては、家のような大きさですから、なかなか使い勝手が悪く、皆さんで集会するにも、スペースが足りないということもあるなど、課題は重々承知してしまして、私としても何とかほかのコミセンに近い形にできないかという思いがありました。

ただ、これは勝手に決める話ではなくて、市全体のコミュニティ構想があり、それをもとにコミセンがつくられてきたわけですから、全体の議論の中で、新築等の議論をするべきだと思います。昨年策定した第四期長期計画・調整計画でも、そういう趣旨で位置づけました。それを踏まえて、昨年設置した第6期コミュニティ市民委員会において、八幡町コミセンに



についての議論もいただこうと考えています。



おかげさまで、コミュニティ市民委員会の委員長・副委員長・委員の皆さんも大変関心を持っていただき、いろいろなご意見をいただいています。今年度中に八幡町コミセンについての一定の方向性を報告いただきたいと思います。今度はそれがお墨付きになりますから、それをもとにコミュニティ協議会の皆さんと市が連携して、きちんとした会を設けて、その中でコミセンのこれからの場所や

内容も含めて、具体的な議論を進めていきたいと思えます。

場所についてはなかなか難しい問題がありまして、新たな土地を買うほど市には余裕はありません。どなたかいただける方がいらっしゃれば、すぐいただきたいのですが、なかなか大きな土地がないということもあって、現在、市が持っている土地で使えるところはないかなど検討しています。若干、候補地はあるのですが、そこはまだ周辺の方の了解もいただいているので、今ここで発表するわけにはいきません。協議会の皆さんと議論をして、プログラムをきちんと決めて、計画・設計・建設と順次進んでいきたいと思えます。

2. コミュニティの単位について

【ご意見】

市長からは、モデルになるコミセンをということだったが、少し時代が変わってきた。八幡町コミセン1つが大きくなるのではなく、市の16コミセンを使い勝手のよい大型コミセンに編成を変えて、その中で八幡町が中心になって、大きな使いやすいコミセンをつくるのはどうか。今の小さなコミセンがただ移転して大きくなるのではなく、全市的に見れば、いろいろな考え方ができるのではないか。

極端な話をすると、今16あるものを4箇所にして、お子さんからお年寄りまで家族全部が楽しめる、下手すれば温水プールがあるくらいの規模のコミセンがこれからは必要ではないか。

今は利用世代によって使い分けていると思う。そうすると、だんだん核家族社会になり、コミセンにおいて同年代のコミュニケーションはとれるが、年代層を外したコミュニケーションがとれないのではないか。このような考え方に対しての市の見解はどうか。

【市長】

大胆なご意見をいただきました。今あるコミュニティセンターは、武蔵野市全体のコミュニティ形成を考えていく中で、コミュニティの固まりをずっと昔から議論して、その単位の中にコミュニティセンターが核として位置づけられています。基本的には、今の16コミュニティ協議会が地域のコミュニティづくりを進めていただいていると私も認識しているので、これからのコミセンも基本的には現行の単位が原則ではないかと思えます。

仮にコミュニティの考え方が変わってきて、全体で考えていこうというふうになったとしても、例えば、今ある2～3のコミュニティ協議会を合わせたような形に構想が練られてそ

ういう方向に向かうには、相当時間がかかると思います。それまで待つてよいのであれば、じっくりコミュニティのあり方全体について議論し直さなければいけません。私としては、今のコミュニティ構想をベースにして、八幡町コミュニティ協議会を中心とした施設という議論を深めていったほうがよいのではないかと思います。

もし第6期コミュニティ市民委員会の中で、そういう大きな議論があるとするれば、私としても受けなければいけません、今のところないと思います。ただ、コミュニティ構想は、もう30数年前のものでありますから、これからのコミュニティを考えるとときには、新たな取り組みも必要だと思っていますので、その議論も大いに参考にしたいと思っています。いずれにしろ、今あるコミュニティ協議会をベースにしたコミセンということをお考えいただいたほうがよいのではないかと思います。

3. コミュニティセンターの移転場所について

【ご意見】

市長のご意見を聞いて、コミュニティセンターは、地域に住む人のコミュニティの場ということが基本なので、すごく安心した。それから、「八幡町コミセン移転・新築推進委員会」で、候補地をいろいろと挙げてある。条件があつてだめなこともあるとわかつてはいるが、どうしてもだめなのか、それについても伺いたい。例えば、交番の裏の都営住宅の場所は、私たちにとっては、八幡町の真ん中で、非常に便利でよいのだが、これは絶対に無理なのか。

【市長】

都営住宅の中の集会所は、都営住宅の皆さんのものなので、これを広域の集会施設にするというのは、難しいと思います。

よそ様の土地というのは難しい課題があるし、市が持っている土地でも、例えば、公園についても、公園として用地を確保した経緯もありまして、その用途変換というのは極めて困難です。それで補助金もいただいたりしていますので、利用目的のない市有地というのが原則と考えておりますが、まだ特定はできません。



4. 現在のコミュニティセンターについて

【ご意見】

新しいコミセンができたときに、今のコミセンはどうなるのか。そのまま残して、市民のための何かに利用できるのか。

【市長】

まだ考えていませんが、武蔵野市の財政について、これから税収は増えず、しかも様々なリニューアル事業がある中で、市民サービスをどんどん増やしていくのは難しい状況になっています。少なくとも現状維持が精一杯ではないかと思います。



例えば、コミセンの運営についても、各コミュニティ協議会に補助金を出しているのですが、それもこれから広げていくことは難しい状況だと思います。新しいコミセンの運営費用については、今以上に膨らむのは大変厳しい状況にあります。そうすると、今ある施設をそのままにして、新たに増やすということは、なかなか厳しいのではないかとはいえますが、新しい場所が確定した後に、今あるコミセンをどうするか、もう一回整理していきたいと思います。

5. 建替えのスケジュールについて

【ご意見】

予定としてはいつ頃できるのか、全くわからないのか。

【市長】

昨年策定した調整計画でも、いつまでにつくろうという決定はしていません。しかし、これはまずはコミュニティ市民委員会での議論があって、それで一定の方向が出れば、それをもとに、来年度早々から皆さんと具体的な話をしていこうと思っています。その具体的な話がうまくまとまって、かつ、新しい敷地候補地の周辺の皆様方にもご理解いただければ、その先は早いです。設計をして、そして工事に入ります。周辺の皆様に納得いただくまで時間がかかるかもしれませんが、それはわからないところですね。

【ご意見】

八幡町3丁目に住んでいる。この新しいコミセンの建設は、第一に場所を決めないと進まない。推進委員会でも候補は結構出ているが、財政上の問題もあり、市の持っている八幡町3丁目にある千川小プールの跡地について、あそこしかだめだということになって、ご近所の方の了解が得られれば、いつ頃、手がつけられるか。

【市長】

難しい質問ですね。あその場所に限定せずに、例えば、ある敷地があってということで想定するならば、今年度中に市民委員会での一定の方向性を出していただきます。来年度早々に協議会の皆さんと市で、建設に向けた委員会を立ち上げてから議論がスタートします。その委員会の中で、場所について幾つかの候補地の中からそこにしましょうということ合意いただきながら、かつ、地域の周辺の皆様に同時進行でご了解いただかなければいけないと思います。了解をいただくには、丁寧な対応が必要であり、1～2ヶ月でハンコを押しなさいというわけにはいかないのです、その辺に難しさがあります。

仮にその期間が半年とすれば、その半年以降に設計になりますね。設計はいろいろ手続もありますから、1年ぐらいはかかるといいますし、工事も1年以上はかかるでしょう。したがって、設計がスタートしてから開館まで2年ぐらいはかかるといいます。そんなに豪華なものをつくらなければ、すぐできるかもしれません。

【ご意見】

豪華なのをつくっていただきたい。せつかくこれからつくるのだから、それこそ市長がお

っしゃるモデルになるようなよいコミセンをつくっていただこうと思って、推進委員会ではみんな夢の話をしている。

6. コミュニティセンターのあり方について

【ご意見】

八幡町3丁目に住んでいる。縁があって地域のことに関わって感じたことだが、この千川地区というのは、地域の方たちに支えられている。青少協があり、地域社協があり、八幡町コミュニティ協議会があり、千川小のPTAなど、いろいろな団体があり、その個々の団体がそれぞれ一生懸命頑張って活動している。しかし、地域の固まりというか、1つになっていないという感じを受けた。それらが1つにまとまって、拠点としてコミュニティセンターというものを利用できて、お互いの情報交換もできて、この千川地区をこういうふうにしようというお話ができる場であるようなコミュニティセンターがあったらよいと思う。



それぞれの団体の方たちは一生懸命で、子どもたちも多くの方たちに支えられて、見守られているということを実感したので、それをもっとまとまった形で生かさせていけたらよい。

もう1点、この武蔵野市の子どもへの関わり方だが、私が市報などで、いろいろな取り組みを見ている限りでは、0歳児・未就学児・小学生に対しての安全確保、居場所の確保、遊び場の確保は大分進んできていると感じる。赤ちゃんとお母さんたち、小学生の放課後の居場所、遊び部屋ができたりしているが、そこから上の中学生、高校生が今どこにいるんだろうという感じがする。私も中学生の娘を持っている。部活をやって帰ってきて、その後、遊ぶ時間はほとんどないが、みんなで集まって何かしようというところが見当たらない。新しいコミセンが居場所になっていただけたらありがたい。

【市長】

まさにおっしゃられた、だれもが利用できるようなコミセンを私も願っております。同時に、武蔵野市の特徴として、様々な団体が地域で活動されていますが、それぞれの団体がよりどころとなる場所がないとよく言われます。

例えば、地域社協も、それぞれ大変頑張っているのですが、その拠点の場所がないという各地域社協の皆さんもいらっしゃいます。青少協はどちらかというと学校単位なので、学校の中にもっとそういう拠点が確保されてよいのかと思います。さまざまな団体を束ねていくのがコミュニティ協議会なのではないかとも思っています。

私は今、住まいは境南町ですが、以前、境南コミセンの運営委員もずっとやっていたりして、境南でもそういう課題がありました。なるべく委員も団体から出してもらおうということで、そういう取り組みを積極的にして、まさに団体の集合体がコミセンだという取り組みを試行した期間もあります。地域の活動団体を束ねていくのがコミュニティ協議会で、それがコミュニティづくりの1つという、そんなやり方もやっていただけたらと思っています。

中高生の居場所については、私も課題に思っていますが、もともと中高生専用の居場所は我々が子供のころから無かったわけで、例えば、「0123」など、他の年齢層を対象とした施設ができましたが、中高生の専用となるものができなかったということが、居場所がないと感じられると思うんです。

場所をつくるということだけではなくて、むしろ中高生の役割を地域でいろいろ出させていただくとよいと思います。中高生は、役割があって初めて行きやすくなります。コミセン側から、中高生の役割を大いに生み出してほしいんです。幾つかのコミセンで、イベントなどに中高生のスタッフを直接引っ張ってきていますが、それが広がっていきます。これからのコミセンをお考えになるときは、場所の問題もさることながら、地域のお父さんだったり、お母さんだったり、世代を越えた皆さんが役割を担っていただくような、コミセンにしていきたいと思っています。



【ご意見】

私たちが今検討しているのは、ハードの面だけではなく、ソフトの面ということで、コミュニティづくりやコミュニティのネットワークづくり、それから市政と協働できるような、そういう核になるようなこと、民主的な運営をどうやって深めていくかを検討しているということだけ申し上げておきたい。

7. コミュニティセンターのハード面について

【ご意見】

八幡町3丁目に住んでいる。昭和55年に、八幡町コミセンができたと思うが、その頃から事務員をやっていて、今も協力員として携わっている。八幡町コミセンにはロビーがない。事務室は、いろいろな機器が入り、とても狭くなって、人と人が横にならなければすれ違えない。最初は調理室もなかった。このくらい気の毒なコミセンはないと感じている。

先日、関前コミセンに行ってきたが、あのくらいのコミセンができれば嬉しい。八幡町コミセンづくりでは、皆さんが1つにまとまって、使いやすい、すばらしいコミセンをつくっていただければよいと思う。

トイレについても、男性がいると女性が入っていけないし、女性が入っていると男性も入れず、気を使いながら使用している。コミセンができたいきさつは私も存じ上げているので、あまりいろいろなことを言えないが、今の時代に合ったコミセンでないことだけは事実だ。利用者も私が勤めていたころよりも少ないのではないかな。広くて使いやすいということが、一番大事なことだと思う。

【ご意見】

八幡町3丁目に住んでいる。コミセンのハードの部分について、ソーラーシステムや屋上緑化ができればよいと思う。コミセンの場所を知らない方が結構いて、八幡町の人に「コミセンってどこにあるの」と聞かれる。あれは1軒の民家程度のもので、コミセンを知らないのも当たり前だと思うときもある。八幡町コミセンはここにありというようなコミセンをつ

くっていただきたい。いつも市長がおっしゃるように、モデルになるようなコミセンというのを望んでいるので、ぜひ早めをお願いしたい。

【市長】

建物で目立つという意味ではないと思いますが、中身をよいものにしていただきたいと思います。建物も皆様からいろいろな意見をいただいての設計になろうかと思えます。今、吉祥寺南町コミセンでは、市に頼らず自主的にソーラーパネルを入れるので、できれば市にも補助してほしいという取り組みもあります。屋上ができるほどの大きさになるかどうかわかりませんが、屋上緑化などについても、ぜひ考えていただきたいし、これからつくる公共施設というのは、環境に配慮したものじゃないといけないと思いますので、その意味では、環境型のコミセンとして、モデルになるような形でできたらよいのではと思います。

